

夏号

第137号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

甲府交通安全協会	南甲府交通安全協会	小笠原交通安全協会	韭崎交通安全協会	長坂交通安全協会
鵜沢交通安全協会	南部交通安全協会	市川交通安全協会	石和交通安全協会	日下部交通安全協会
塩山交通安全協会	都留交通安全協会	富士吉田交通安全協会	大月交通安全協会	上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所 社団法人・山梨県トラック協会 山梨県タクシー協会 社団法人・山梨県バス協会
 山梨県自動車販売店協会 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 社団法人・山梨県自動車整備振興会 山梨県軽自動車協会
 山梨県二輪車安全普及協会 山梨県自転車軽自動車商協同組合 社団法人・山梨県建設業協会



シートベルト あなたの命綱

夏の交通事故防止県民運動 21日から8月20日

シートベルト・チャイルドシート着用をテーマに街頭指導所を開設、ドライバーに着用と安全運転を訴える甲府安協敷島支部員ら
=敷島町の長塚交差点

夏の交通事故防止県民運動は、二十一日から八月二十日までの三十一日間行われます。期間中は夏の行楽シーズンと児童・生徒の夏休みが重なり、季節的に交通事故の多発、暴走族の活動激化が予想されます。県民が主役となって取り組む参加・実践型の交通安全運動を推進する中で、交通安全知識を普及し交通安全思想の高揚を図るとともに、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を自ら習慣づけることが大切です。

運動の重点は、交通事故防止を図ることを目的として①飲酒運転の絶滅②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底③高齢者の子供の交通事故防止④若者の無謀運転及び暴走族の追放とし、地域に密着した街頭指導や交通安全活動などを実施して交通事故の減少に取り組みます。県民一人ひとりが交通ルールやマナーを守り、交通事故の防止に努めましょう。

交通安全カレンダー

- 7月21日～8月20日 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成14年
- 1月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
二輪車安全運転山梨県大会

内容紹介

- 2面 理事・評議員会と平成12年度事業報告
- 3面 子供自転車・二輪車安全運転県大会
- 4・5・6面 各地区安協の活動
- 6面 山梨園芸高の原付教室
- 7面 地域交通安全活動推進委員の委嘱
- 8面 協賛3団体、交通安全に尽力

交差点

ある雨の日の出来事でした。白い杖を手にした眼の不自由な男性が傘を手にして路側の電柱を避けて歩いていました。

▼そのとき、道路の反対方向にいた高校生が駆け寄り、その人をしばらく誘導し、何事もなかったように戻って行きました。こうした若者の行為を目の当たりにしたとき、最近ほんの些細なトラブルから、いわゆる「きれて」人を殺傷する同世代の者の行為と重ね合わせ、複雑な気持ちにさせられました。

▼ところで、交通安全協会では、警察と連携して「交通安全ボランティア」を募集しており、現在、若い世代を中心に五百二十五人が各種の交通ボランティア活動を実施しております。

▼ただ、こうした活動に参加した多くの人から、ボランティア活動には参加する気持ちがあっても、「時間の問題」や「恥ずかしい気持ち」などが先行し気軽に参加できない、との声が寄せられました。

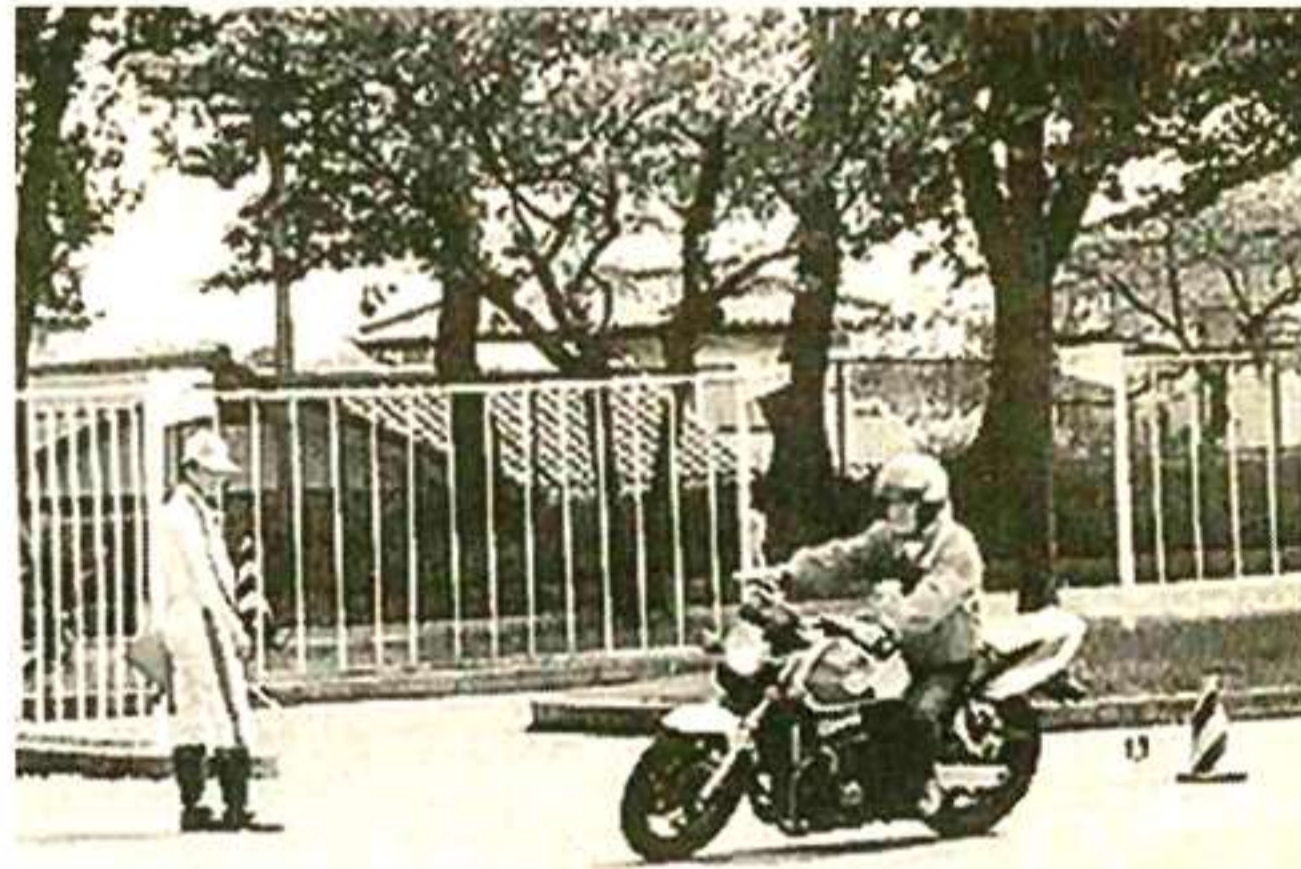
▼そこで提言ですが、交通安全全ボランティア活動は、いつでも、どこでも気軽にできること、例えば自宅近くのカープミラーの清掃など、まず身の回りの交通安全に関するところから始め、その後ボランティア組織に参加してはどうでしょうか。

▼これから免許を取得して強者の立場で「くるま社会」に参入する若者を中心に、こうした活動の輪が広がることによって他人を思いやる心が育まれ、安全運転に寄与していくものと思っています。

廣瀬さんら4人 全国大会へ

八田で二輪車安全運転県大会

28人が法規・技能を競う



二輪車安全運転の法規走行や技能走行を競う二輪車安全運転県大会
＝八田村の山梨自動車学校

第三十一回二輪車安全運転山梨県大会(県交通安全協会・県二輪車安全運転推進委員会共催、県警・県教委など後援)は六月十日、八田村の山梨自動車学校で開かれ、日ごろ二輪車を愛用している十六歳から三十九歳までの二十八人が参加、一般Bクラスの二十一人が参加、一般Bクラスで廣瀬義樹さんが優勝しました。

優勝者は七月二十八、二十九の両日、三重県鈴鹿サーキットで開催される全国大会に本県代表として出場することになっていきます。

上位入賞者は次の通りです。

「一般Bクラス」▽優勝(知事賞) 廣瀬義樹▽準優勝(県安協会賞) 大谷真澄▽3位 小林史晃

「一般Aクラス」▽優勝(県議会議長賞) 富永直人▽準優勝(県安協会賞) 秋山兼一▽3位 山崎昌広

「高校生クラス」▽優勝(県警本部長賞) 遠香俊介▽準優勝(県安協会賞) 芦澤広樹▽3位 日野貴昭

「女性クラス」▽優勝(県安協会賞) 深澤恵子▽準優勝(県安協会賞) 山本良江▽3位 笠井千恵

車で通路上バイクと軽い接触事故を起こしたが、倒れた被害者は、病院も警察も行かない、大丈夫とのこと、「ホッ」と安心して別れたところ、翌日警察からひき逃げ容疑で出頭を求められたというような例をご存知だと思います。

道路交通法第七二条には、交通事故の場合の措置として、負傷者の救護義務、道路上の危険防止など必要な措置、警察官への報告義務などが規定されており、この場合、救護義務違反はともかく、報告義務違反と業務上過失傷害の責任は免れられません。

シグナル

同じような事例に、相手側にも増加傾向があります。理由がある場合や、逆に、相手が暴行などで、弱みにつけ込まれて不当に高額な損害賠償を求められたという事例もありません。

ひき逃げは悪質な犯罪 事故の届けを怠りなく

理由であれ逃げることは絶対に許されませんし、自分の罪を雪ぐるために大きくする結果になるだけです。

また最近、ひき逃げ事件が増加しており、表の通り平成十二年中県内では八十三件(前年対比二十五件増)た方は、大変つらく悲しい

事件種別	発生件数	対前年増減数	検挙件数	検挙率
死亡事故	3件	+ 2件	3件	100.0%
重傷事故	8件	- 2件	4件	50.0%
軽傷事故	72件	+25件	49件	68.1%
計	83件	+25件	56件	67.5%

思いをされておられ、その苦痛は極めて深刻です。こうした思いを背景に、今国会で、悪質・危険運転者対策の強化として、ひき逃げ事件の罰則については、懲役刑を現行の三年以下から五年以下に、罰金刑を現行の二十万円以下から五十万円以下に引き上げる道路交通法改正案が成立しています。

ひき逃げは、交通社会における最も悪質な犯罪です。警察では「逃げ得は絶対許さない」との信念で、〇〇%の検挙を目指し、全力で取り組んでいます。皆様方から事件に関する情報提供などについての協力をお願いします。

(県警交通指導課次席・武川真延)

高根東A、5年連続優勝 甲府で子供自転車大会



真剣な表情で競技する小学生選手
＝甲府・小瀬スポーツ公園体育館

表十三校十七チーム八十五人の選手が参加して、学科六百点・実技五百点の持ち点千点からの減点方式で競い、息詰まる熱戦を繰り広げました。この結果、団体部門では高根東Aチームの上位三選手が得点合計三二四四点を獲得、連続五年・通算二十三回目の優勝をしました。

個人では、高根東の半田友美選手(六年生)が、減点わずか一八点で優勝、二位も同小の高柳博之選手(六年生)でした。学科テストの満点者は七人で、全競技を通じて好成績を納めました。

優勝した高根東Aチームは、八月七、八の両日、東京で開かれる全国大会へ県代表として出場します。

入賞した団体・個人は次の通りです。

「団体部門」▽優勝(県警本部長・県安協会賞、知事賞、管区局長・関東安協連合会長賞) 高根東A▽準優勝(県警本部長・県安協会賞、県議会議長賞) 高根東B▽準優勝(県警本部長・県安協会賞、県教育賞) 北新A▽準優勝(県警本部長・県安協会賞) 万沢、八代⑥北新B⑦豊⑧下吉田東B⑨押原A⑩浅川

「個人部門」▽優勝(県警本部長・県安協会賞) 半田友美(高根東)▽準優勝 高柳博之③山田秀香④坂本遼平⑤小池礼恵⑥中島祐二⑦田代将斗(以上高根東)⑧山縣慧(北新)⑨佐藤速人(高根東)⑩遠藤将都(北新)

「満点賞」▽学科 山縣慧、小林裕貴、安井華奈子(以上北新)、半田友美、山田秀香、小池礼恵、阿久津友洋(以上高根東)▽安全走行 長瀬賢太(奥野田)、小林史佳(浅利)

二輪車事故防止へ 施策推進を決める

県交通安全協会は甲府市内で、山梨県、県警、県教育委員、甲府市、県交通安全母の会など参加の下に、二輪車や自転車の事故防止対策について対策会議を開きました。各協議の内容は、次の通りです。

▽県二輪車安全運転推進委員会 県安協と県二輪車安全推進委員会は四月二十六日、本年度実施される「原付免許取得時の法定講習」高校生(二輪車安全運転講習)「高校生」の二輪車安全運転講習の開催方法を検討しました。

▽県自転車安全推進委員会 県安協と自転車安全推進委員会は五月九日、県下小中学校での自転車教室の実施、TSMマークを張り増す運動など、強力で推進することを決定しました。

交通安全対策への提言募集

財団法人山梨県交通安全協会は、今後の交通安全活動の参考とするため読者からの提言を、次の要領で募集します。

○内容は、今後、民間の団体・個人が実施すべき①高齢者の交通事故防止対策②若者の交通事故防止対策③のいずれかを原稿用紙三枚以内

○応募先は、郵便番号400-0064 甲府市下飯田1-13-23 財団法人山梨県交通安全協会 電話 055-237-7827。メールアドレス ankyou@y.nor.jp

○応募締め切りは、平成十三年十月三十一日まで

○応募先は、郵便番号400-0064 甲府市下飯田1-13-23 財団法人山梨県交通安全協会 電話 055-237-7827。メールアドレス ankyou@y.nor.jp

○応募先は、郵便番号400-0064 甲府市下飯田1-13-23 財団法人山梨県交通安全協会 電話 055-237-7827。メールアドレス ankyou@y.nor.jp

主要道に街頭指導所 マナー向上呼び掛け

葦崎・役員らパレード

葦崎交通安全協会(山寺嘉一郎会長)は、運動期間中の重点活動を定め次の活動を実施しました。

四月六日、JR葦崎駅前、安協役員やマナーアップレディー三十人が、朝の通勤・通学者に対し黄色い羽根を配布



葦崎市中心街を交通安全プラカードを持ってパレードする葦崎安協役員やマナーアップレディーたち

同七日、葦崎市街で、各交通安全活動機関団体約百人が、住民、通行者に交通安全の呼びかけを行いました。

同日、葦崎市街で、各交通安全活動機関団体約百人が、住民、通行者に交通安全の呼びかけを行いました。

長野県と合同で「指導所」を開設

○長坂

などを配布し交通安全を呼びかけました。また、同日、高齢者交通安全講習会(交通安全を奇席る会)を葦崎市民文化ホールで管内四市町村の高齢者三百人が参加して、開きました。さらに一日警察署長が、高齢者の交通安全に関する落語を披露した後、反射材の重要性と着用の習慣付けを説明して、反射材を参加者全員に配布しました。

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、さまざまな事業を実施しました。長坂署・長坂安協は四月六日、長野県白



国道141号に開設した長坂・白田両安協の指導所で安全運転を呼び掛ける

田署・白田安協と合同で、交通指導所を開設しました。統一事業として毎年恒例となっています。

チェーン(脱着所)は、冬の期間中にのみが山のようにたまっていたため、両県関係者百八十人は、まず付近の清掃を行い、交通指導所を開設しました。

交通指導は、開所式の後、国道141号線を上下線に分け、双方で通行車両に対し長坂安協・白田安協で準備した交通安全啓発用品を配布して、安全運転を呼び掛けました。

町単位に「指導所」 ベルト着用をPR

○南部

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野鳥島1828
(免許センター内)
TEL (055) 285-0752

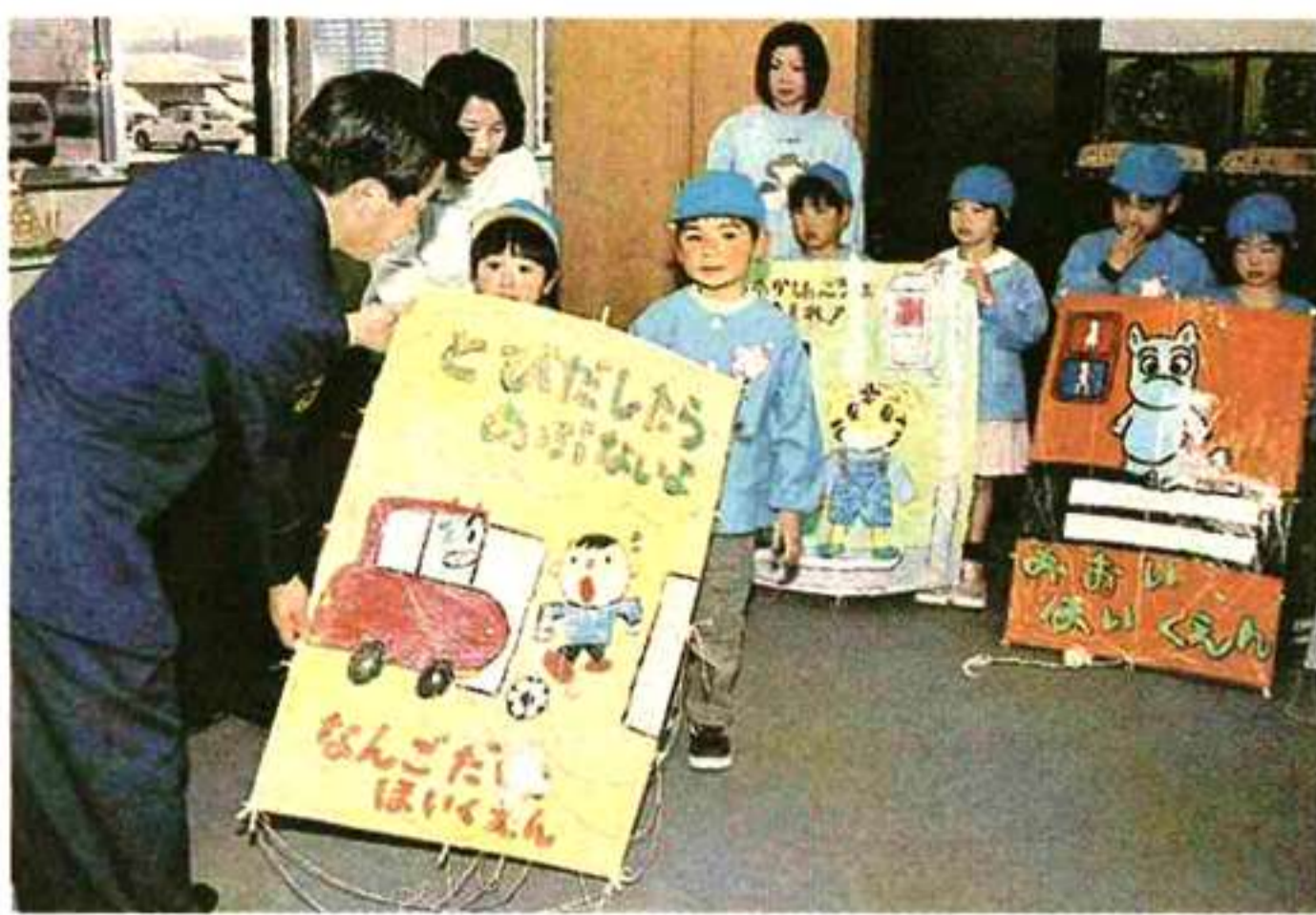
南部交通安全協会(仲尾初利会長)は、管内各町単位で集中的に街頭指導所を開設し、ドライバーに対し安全運転を呼びかけシートベルトや

チャイルドシート着用の安全指導を行いました。南部町は同六日、国道52号の中野交差点、身延町は同日、身延町総合文化会館前、富沢町は同十一日、道の駅・とみざわ前にそれぞれ指導所を開設し、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。



安全教室で黄色い旗を掲げて横断歩道を渡る子供たち

また、管内保育園・小学校で南部署員と交通安全教室を開き、交通安全講話を行った後、実際に道路へ出て、横断歩道の渡り方などの指導を行いました。



交通安全を託したたこを作り、小笠原署に贈る保育園児たち

園児、たこに交通安全託す小笠原

小笠原交通安全協会(名取和久会長)は、高齢者の交通死亡事故抑止に重点を置き、活動を繰り広げました。同安協では、管内の老人クラブに呼びかけ、各老人クラブの代表者を交通安全シルパリーダーに委嘱しました。リーダーに委嘱された人は、各老人クラブの集まる場所などで、仲間の高齢者に安全指導をしたり、自ら率先して交通安全に心掛けてもらうものです。また、安協婦人部では、ゲートホール場・福祉センターなど高齢者が集まる場所などで、事故に遭わないためのポイントなどを具体的に指導する、ミニ交通安全教室を実施しました。

また、甲西町内の保育園で、



また期間中、諏訪支部(高橋弘昌支部長)は、夜間ウォーキング・ジョギング愛好者

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、運動期間中の交通事故防止の徹底を図るため、四月九日、下部町国道300号の妙田寺前で各交通安全活動団体・関係行政機関が参加して、総合街頭指導所を開設しました。

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、運動期間中の交通事故防止の徹底を図るため、四月九日、下部町国道300号の妙田寺前で各交通安全活動団体・関係行政機関が参加して、総合街頭指導所を開設しました。

教室では、高齢者の交通事故防止に関する映画を上映した後、参加者と対話方式による具体的な交通安全教室を開き、夜間における反射材の着用効果についての実験を行いました。

大きな成果 夏に継続へ



「高齢者事故防止対策モデル地区」に指定された市川大門町高田地区で開催された高齢者交通安全教室

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、運動期間中の交通事故防止の徹底を図るため、四月九日、下部町国道300号の妙田寺前で各交通安全活動団体・関係行政機関が参加して、総合街頭指導所を開設しました。

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、運動期間中の交通事故防止の徹底を図るため、四月九日、下部町国道300号の妙田寺前で各交通安全活動団体・関係行政機関が参加して、総合街頭指導所を開設しました。

事故件数、4割も減らす

春の全国交通安全運動結果

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、警察官延べ三千九百人、関係機関・団体などから一万九千三百八十人が参加して行われました。広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自らが道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進すること、交通事故防止の徹底を図ることが目的。飲酒運

高齢者「交通落語」楽しむ 南甲府

南甲府交通安全協会(山下 幸男支部長)は四月六日、豊田二(会長)と豊田支部(萩原 富村農村広場で、高齢者五十



交通安全をテーマにしたなぞかけや落語会を楽しむお年寄りたち
＝田富町立総合会館大ホール

歩道・一時停止・車と交差点・障害物などを想定し具体的な実技指導を実施しました。田富支部(橋戸(金)支部長)は同八日、田富町立総合会館大ホールで、高齢者のための交通安全落語会を開催しました。この落語会には、田富町内の高齢者など百五十七人が参加して、はじめに反射材着用効果などの交通安全講話が行われ、参加者全員に反射材を配布しました。

花植栽し安全訴え 塩山

塩山交通安全協会婦人部(石川外史子部長)は毎年、春の全国交通安全運動実施前に交通安全旗を掲げる道路沿いや花壇の花の植え替え活動を行っています。



「ドライバーや歩行者の心の安らぎになれば」と塩山署や塩山バイパスにパンジー250株を植える塩山安協の婦人部役員ら

今年、婦人部役員二十人が三月二十七日、パンジー二百五十株を塩山警察署、市道塩山バイパスに植え、車両運転者、歩行者に心のやすらぎを与えるとともに交通安全を呼び掛けました。



新標語が掲げられた甲府署前の標語看板

「標語看板」を補修 夜はライトアップ

○…甲 府

甲府交通安全協会(秋山登会長)は、管内防犯団体・甲府西ロータリークラブと協力して、甲府警察署正面に設置されていた広報啓発看板を補修しました。本年度から新しくなった、山梨県交通安全スローガン最優秀作品「やめようよ、自分のルールで 走るの」の標語看板を作成して交通安全の

呼び掛けを行っています。看板は、上部に照明が設置され夜間でも、標語がライトアップされるようになっていて、春の全国交通安全運動初日の四月六日に合せて披露されました。

また、同日、甲府市の湯村自動車学校で、六十五歳以上の高齢運転者による参加・体験・実践型バイクスクールを行いました。

富士見小の新入学生と父母の「実践教室」



石和交通安全協会(大久保光雄会長)は四月十二日、石和町立富士見小学校の新入学生(百五十人)と父母を対象とした、「交通安全実践教室」を開催しました。教室では、安協石和支部(三枝力支部長)、石和町交通対策本部、石和警察署員らが、家庭に道路を設定し、実際に車両を使って車の死角・巻き込み指導や、通学路での道路横断訓練などを行い、運転する立場と歩行する側の両方から交通安全について学びました。

安全意識の高揚期し 高齢者歩け歩け大会

○：日 下部

日下部交通安全協会(天野経廣会長)は期間中、さまざまな安全活動を実施しました。四月十日、山梨市老人クラブの約五百人が参加して「高齢者交通安全歩け歩け大会」を開催しました。

この大会は山梨市内の高齢者を対象に、夜間反射材の効果とその効用について、交通講習や道路における正しい歩き方の実践について講習を行いました。

三富村は四月五日、「高齢者交通安全モデル地区結成大会」を開き、村内の高齢者百五十人が参加して、自らが交通安全意識を高めました。



大会は村の行事などで事故防止を呼び掛けるなどの活動を行ってもらうことを目的に開催され、最後に交通安全宣言を行いました。大会を終了しました。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二(合宿施設有)

富浜支部員25人がカーブミラーを清掃

○大月



大月交通安全協会(山下道男会長)は四月十三日、市内の法輪寺で、大月ライオンズクラブや各種交通関係機関・団体から三十一人が参加して、交通死亡事故抑止の祈願祭を開催しました。富浜支部(浅川実支部長)は四月十六日、鳥沢小学校で交通安全教室を開催しました。

同支部では五月十三日、支部長以下二十五人がカーブミラーの清掃活動を行いました。写真。春から夏にかけて富浜町内で祭典などが数多く開催され、地域住民や県内外の観光客でにぎわうことが予想されるため実施したもので、住民からは「交通事故防止に役立つ」と好評でした。

トランペット鼓隊安全訴え市内行進

○都留



都留交通安全協会(三枝時彦会長)は四月十四日、全国交通安全運動トランペット鼓隊が、市内谷村第一小学校を会場に高尾町都通から富士急行線都留市駅へ往復約二キロをパレードしました。写真。

パレード前の式典では、参加した小学生や幼稚園児など

が、それぞれ短冊に交通安全についての思いを書いて、百個の風船に付け一斉に飛ばしました。都留安協秋山支部(佐藤猛支部長)は、山坂が多い環境の中、高齢者のシニアカー(歩行補助車)の利用が多く、高齢者の事故防止対策の一環として「シニアカー利用者に対する安全教室」を開きました。

東桂支部(高部愛明支部長)は、五月十八日、公民館で地区の高齢者を対象に、交通事故防止教室を開催。十日市場自治会を「高齢者交通事故防止抑止モデル地域」と指定し、年間を通して活動することにしたもので、今回は道路を横断

安協から

市川交通安全協会は、西八代郡下の五町村に二十一支部を置き、各支部の役員三百八十二人が、悲惨な交通事故のない「安全で住みよい街づくり」を目指して、警察署をはじめ関係機関、団体の協力を得ながら、地域に密着した各種の交通安全活動を推進しています。

本年五月末現在の市川警察署管内の人身交通事故の発生状況は、

発生件数四十三件(七件増)、死者一人(一人増)、負傷者四十七人(六人増)と、いずれも昨年同期を上回っており、厳しい交通情勢下にあります。

地道で息の長い活動を

市川安協会長 八木 吉治

交通事故の特徴は、交差点や交差点付近での追突事故と、交差点での出会い頭事故が全体の約六割を占めており、やはり交差点は、危

交通事故の特徴は、交差点や交差点付近での追突事故と、交差点での出会い頭事故が全体の約六割を占めており、やはり交差点は、危

險が潜む場所であると実感しているところ。また、この地域は山間部のため、山岳道路の坂道やカーブが連続する危険な道路が多く、スピードの

川交通安全協会は、
○反射材の普及と着用活動の促進
○高齢者による参加・体験型の交通安全教室の開催

成配布
○道路標識の点検とカーブミラーの清掃活動
○交通事故現場検討会の開催などを推進しています。



今日の厳しい交通情勢を踏まえ、今年も関係者の指導と協力をいただき、それぞれの地域で、交通安全の輪をさらに広げながら、安全で快適な「くるま社会」の実現に努力していきたいと考えています。

「やめよう飲酒運転」観光客にアピール

○富士吉田



富士吉田交通安全協会(湯山喜六会長)は四月七日、「信玄公まつり」の交通安全運動パレードを行いました。市民に対し交通安全運動のアピールを行うとともに、交通安全への意識高揚を図るため、

管内の交通安全関係団体など約五十人が参加しました。パレードは徒歩で富士吉田市役所を出発、国道139号を通り、金鳥居交差点を経由して金鳥居公園までの全長約一・五キロで行いました。写真。

また、富士吉田管内は、県内を代表する観光スポットの富士山、富士五湖を抱え、県外からの観光客が多いため、ホテルなどが所有しているマイクロバスなどの車両に「ストップ・ザ・飲酒・ドライブ」と書いたマグネット標識を装着し、通行車両、地域住民に広く広報しました。

重点事項を決め
キメ細かく活動
○上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は期間中、毎日重点を決め活動を行いました。四月六日は、管内JR駅などで黄色い羽根の配布、国道20号での街頭指導所の開設、同日は、上野原駅・四方津駅前駐輪場で自転車の安全利用推進のための街頭指導と、放置自転車・バイクの排除活

動、高齢者学級においてヒヤリハット地図の作成とビデオなどによる交通安全教室を開きました。

さらに同十日は、丹波山村交通安全標語コンクールを行い、その後丹波小学校で全校生徒を対象に自転車教室の開催、同十三日は桐原小学校での自転車教室、同十四日は上野原教習所でシルバードライビングと書いたマグネット標識の開催など、また期間中の継続活動として、飲食店の飲酒運転防止ポスター掲出作戦、懸垂幕・桃太郎旗などの掲出、防災無線を利用した広報活動を行いました。

原付講習会を
生徒60人受講
葦崎工高

財団法人山梨県交通安全協会

会経営の山梨自動車学校(穂川征之校長)は、交通死亡事故抑止緊急対策の期間中の六月二日、八田村の同校を無料で開放して、葦崎工業高の原付免許取得者六十人を対象に安全教室を開きました。写真。

受講生らは、学校長から最近の交通事故状況や運転者としてのマナーなどの講義を受けた後、班編成を行い指導員から正しい運転姿勢、バランス走行、進路変更、交差点の通過方法、カーブの体感走行などの実技講習を行いました。

山梨自動車学校では、今後も地域の交通安全センターとして、地域に根差した交通安全教育の核となるよう講習会を充実、多くの学校、幼稚園児・母親らに対しても交通安全教室を開催していく予定です。

山梨園芸高(小林則嗣校長)は、六月中旬に石和町の同校で新入学生徒百二十三人を対象に、独自の原付安全運転講習会を開きました。交通安全意識の高揚と運転技術の向上を図るため、県安協職員、二輪車安全運転指導員に指導を受けました。写真。

生徒らは初めての体験で、正しい運転姿勢、発進・停止の仕方、ブレーキの使い方、カーブの安全走行などの原付

を運転するに当たっての基本事項を熱心に学び、「これからの運転に役立つ」と喜んでいました。

同校は生徒に交通に関する正しい知識、技術、マナーを修得させるため、積極的に交通安全学習に取り組む計画です。二輪車や大型特殊自動車の公認コースが設けられる大型機械研修農場を活用して、来年度から「保健体育」に交通安全の項目一単位相当を充てることにしています。

地域の交通安全お任せ

県公安委 推進委員191人を委嘱

山梨県公安委員会と県警は四月二十五日、甲府市の県自治会館で本年度の地域交通安全全活動推進委員の委嘱式を開きました。



甲府市の県自治会館で開かれた各地区の交通安全推進委員委嘱式

はじめ、駐車問題など交通事故防止につながるよう地域に根付いた活動を推進する」と力強く宣言、会場から大きな拍手を受け、委嘱式を終わりました。

その後、推進委員全員を対象に講習会を開き、県警本部交通企画課長らが交通安全教育指針や推進委員の活動要領などを説明しました。推進委員は「委員としての自覚を新たに地域における交通リーダーとしてモラルの向上に努め、安全な道路交通環境づくりに頑張りたい」と抱負を語っていました。

千野武勇、北條繁、渡辺孝男、大久保昌一、横山能、萩原寛、泉昌夫、村松敏雄、小林厚、河住俊裕、萩原和春、大沼芳樹、渡辺三千雄、相川昌安、篠原節、石原昭、岩間美穂子、窪田初江、梅原勝子、小笠原地区 中込功、望月紀子、大久保由美子、刃刀長夫、中込米男、中沢裕子、内池虎雄、石倉芳子、青柳勝子、上田なほみ、齋藤秀男、伊東今朝次

吉文
▽南部地区 望月和一、佐野哲也、依田倉蔵、佐野能香、真保修更、市川政秀、小池邦之、渡邊完一、仙洞田保則、望月幸雄
▽市川地区 八木吉治、一ノ瀬久則、齋木慶彦、谷口昌、伊藤照松、一瀬貞仁、諏訪一彌、遠藤操、高野孝行、依田正彦
▽石和地区 佐野強、森沢哲夫、中村善守、大久保光雄、藤本和儀、山下勲、佐藤敏男、堀内良人、内田忠利、早川孝雄、前島了、杉田隆彦、志茂光照、赤澤正三、飯高初男
▽日下部地区 中澤孝、水地寛、日原今朝二、古屋利雄、佐藤良夫、神宮寺英雄、奈良文子、武藤紀元子、窪川美和子、鶴田邦夫
▽塩山地区 金子淳夫、雨宮利明、三森慎一、吉田幸治、佐藤光正、原拓、井上二郎、三橋正男、辻善麿、平安安年
▽都留地区 天野茂、三枝時彦、勝俣藤久、藤江栄一、堀江洋二郎、山口金弘、北村忠義、小俣政英、小俣以清、渡辺正一
▽富士吉田地区 坂本貞夫、河西武郎、太田茂夫、田辺信義、佐藤嘉太郎、羽田忠一、渡辺和子、渡辺伊勢地、堀内文子、和田竹広、高村料、流石熊男、渡辺昭秀、加々見三千夫、古屋良雄、渡辺力男、三浦孝盛、小林利広、山口孝雄、長田尚
▽大月地区 清水茂広、佐藤文子、天野涉、福田八郎、天野猛雄、棚本郁男、鬼島弘典、志村照男、天野平八郎、渡辺孝雄
▽上野原地区 木口一男、金瀧誠、小俣喜一、上條弘行、小原有治、甘利正司、小山峯吉、小澤正一、石井昭夫、相原英里

十五署から推薦された百九十一人の推進委員を代表した甲府地区の太田源一郎氏に委嘱状を手渡しました。風間委員長は「地域のリーダーとして違法駐車問題をはじめ交通安全の減少に協力してください」と激励、続いて中澤見山県警本部長が「地域における交通安全リーダーとして、道路交通の場でのモラルの向上を通じて安全で快適な道路環境づくりに尽力されることもに、安心して暮らせる地域の実現に貢献していただくようお願いいたします」とあいさつしました。

県知事、県交通安全協会長の祝辞に続いて、推進委員を代表して富士吉田地区の堀内文字さんが「私たちの活動が地域住民への交通安全教育を

▽甲府地区 太田源一郎、千野友造、鈴木光三、羽中田進、横田綾子、藤井治男、末木清次、鷹野和子、矢崎佳子、土屋誠一、望月郁雄、藤原静馬、小澤照彦、梅原武伴、近藤昭、保延公勝、宮尾昭次、千野睦雄、桜井友男、小林文夫
▽南甲府地区 興石武夫、

▽長坂地区 仁科幸男、山本重成、海野松雄、中山武徳、清水慶枝、黒倉千草、小原つや子、中澤右近、小尾桂、平井静子
▽諏訪地区 深澤豊、石坂勲彦、望月広基、望月辰男、芦沢栄次、望月十四朗、野田節美、齋藤三枝、板澤征子、田中勇夫、遠藤正二郎、刃刀

▽石和地区 佐野強、森沢哲夫、中村善守、大久保光雄、藤本和儀、山下勲、佐藤敏男、堀内良人、内田忠利、早川孝雄、前島了、杉田隆彦、志茂光照、赤澤正三、飯高初男
▽日下部地区 中澤孝、水地寛、日原今朝二、古屋利雄、佐藤良夫、神宮寺英雄、奈良文子、武藤紀元子、窪川美和子、鶴田邦夫
▽塩山地区 金子淳夫、雨宮利明、三森慎一、吉田幸治、佐藤光正、原拓、井上二郎、三橋正男、辻善麿、平安安年
▽都留地区 天野茂、三枝時彦、勝俣藤久、藤江栄一、堀江洋二郎、山口金弘、北村

本県の交通事故死者数について昨年までの推移を調べたところ、昭和四十四年の二百二十七人が過去最高を記録しています。しかし、その後においては各種交通事故の抑止対策を行ったり、交通関係団体、特に交通安全協会のボランティアによる街頭監視活動などを積極的に行った結果、過去十年間、平均交通事故死者数は百八人であります。

このような中、昨年の交通事故死者数は、二年連続して八十人、前年より二人減少することができました。ところが、本

年五月三十一日現在、県下の交通事故の発生状況は、発生件数、死者数はすべてにわたり増加し、特に死亡事故については前年同期比プラス十人と激増、増加率にあつては全国ワースト四位で非常に厳しい状況にあり、この状態がこのまま続くと、二年連続八十人台で留まっていた交通事故死者数も百人台に逆戻りする可能性もあり、極めて憂慮すべき情勢にあります。

このため、県警といたしましては、六月を交通事故抑止緊急対策を実施し、交通事故の発生そのものを抑えていきたいと思

そのためには、交通関係団体、特に安全協会らの方々の協力を得ながら交通事故防止を図ってきたいと思

交通安全は必ず減らせます。県民総ぐるみで三年連続して「死者八十人未満」を目標に交通事故死者の抑止にチャレンジしていきたく思います。

今年、参加したチームの方々は、目標達成ができるよう交通安全に心掛けて、頑張ってください。



安全のために

このような中、昨年の交通事故死者数は、二年連続して八十人、前年より二人減少することができました。ところが、本

年五月三十一日現在、県下の交通事故の発生状況は、発生件数、死者数はすべてにわたり増加し、特に死亡事故については前年同期比プラス十人と激増、増加率にあつては全国ワースト四位で非常に厳しい状況にあり、この状態がこのまま続くと、二年連続八十人台で留まっていた交通事故死者数も百人台に逆戻りする可能性もあり、極めて憂慮すべき情勢にあります。

このため、県警といたしましては、六月を交通事故抑止緊急対策を実施し、交通事故の発生そのものを抑えていきたいと思

そのためには、交通関係団体、特に安全協会らの方々の協力を得ながら交通事故防止を図ってきたいと思

交通安全は必ず減らせます。県民総ぐるみで三年連続して「死者八十人未満」を目標に交通事故死者の抑止にチャレンジしていきたく思います。

今年、参加したチームの方々は、目標達成ができるよう交通安全に心掛けて、頑張ってください。

交通死亡事故に歯止めを

県警交通部参事官 名取 孝一



そのためには、交通関係団体、特に安全協会らの方々の協力を得ながら交通事故防止を図ってきたいと思

交通安全は必ず減らせます。県民総ぐるみで三年連続して「死者八十人未満」を目標に交通事故死者の抑止にチャレンジしていきたく思います。

今年、参加したチームの方々は、目標達成ができるよう交通安全に心掛けて、頑張ってください。



参加チームを募集したポスター

安全運転200日チャレンジ 最高の2192チーム 無事故・無違反競う

今年の参加チームは二千九百九十二チームで過去最高の参加数となりました。このように、参加チームが増えた背景には、県民に交通安全の重要性が深く認識されたことや、仲間同士で互いに交通安全意識を高め合えるようになったため、この挑戦も回を重ねることに無事故・無違反であったチームの達成率が高くなっており、県内の交通安全に貢献できるものと考えています。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう
損害保険代理店 株式会社 **たいよう共済山梨支店**
甲府市丸の内二丁目32-13 日東ビル4階
TEL055-228-0691

JAF (日本自動車連盟)



体験型の安全運転講習に取り組む参加者ら
= 双葉・日本航空学園

体験型安全運転講習会が好評

JAFと言えば、路上救援 サービス(車の故障、事故、落輪などの緊急処置を自ら使用したエアバッグ作動)を使用したエアバッグ作動実験④パイロンスラローム

の整備工場までけん引すること)が主幹業務ですが、このほかにも交通安全にかかわる、いろいろなイベントや講習を行っています。

今回は五月十九日に日本航空学園の滑走路で開催された「2001年セーフティ・トレーニング in 山梨」を紹介いたします。

当日は体験型安全運転を目的として、参加者本人の車を使用し①正しい運転姿勢(シート調整・ヘッドレストの高さ・シートベルトの着用確認)②車の視角と死角(車の周囲に生じる死角・ミラーのみに頼らない行動)③デモカ

参加者からは「普段体験できないことを体験できた」「これからの日常運転に役立てる」「楽しかったなどの感想がありました。これからも楽しく参加できるようにさまざまな催事を企画していきます。



AMS (アムス) のシンボルマーク 県内の自動車ユーザーの皆さまに、整備業界への信頼と理解を深めてもらい、業界のイメージ改善と優秀な整備士の育成に努める業界の愛称。山梨の「Y」と人をモチーフに、大きな円は整備士の活力をイメージし未来への飛躍を表現するとともに、21世紀の成熟した車社会の担い手として発展しはばたくことを表現しています。

大切な自動車の点検整備

AMス (アムス) は、県内の自動車分解整備事業者並びに自動車整備に関連する事業者で組織する団体で、会員数は八百六十

この会は道路運送車両法第九十五条と民法第三四条に基づき、一九五一年(昭和二十六年)十二月十七日に設立した公益法人です。自動車の点検整備を通じて車の安全確保、公

害防止、環境保全を図るため、自動車整備に関する設備の改善、技術の向上を目的として整備事業の健全な発展に資するための事業を行っています。

わが国における自動車の保有台数の増加など、急速なモーターライゼーションの発展は利

中で、これからは自動車ユーザーの皆さんの自らの責任で愛車を管理することを原則(「義務」)に、二十一世紀は自己管理責任の時代になります。

適切な車の保守管理(「点検整備」)は、車の安全走行に役立ち、車両の安全確保と交通事故防止につながります。また有害な排出ガスを減らすとともに、燃費の向上とエネ

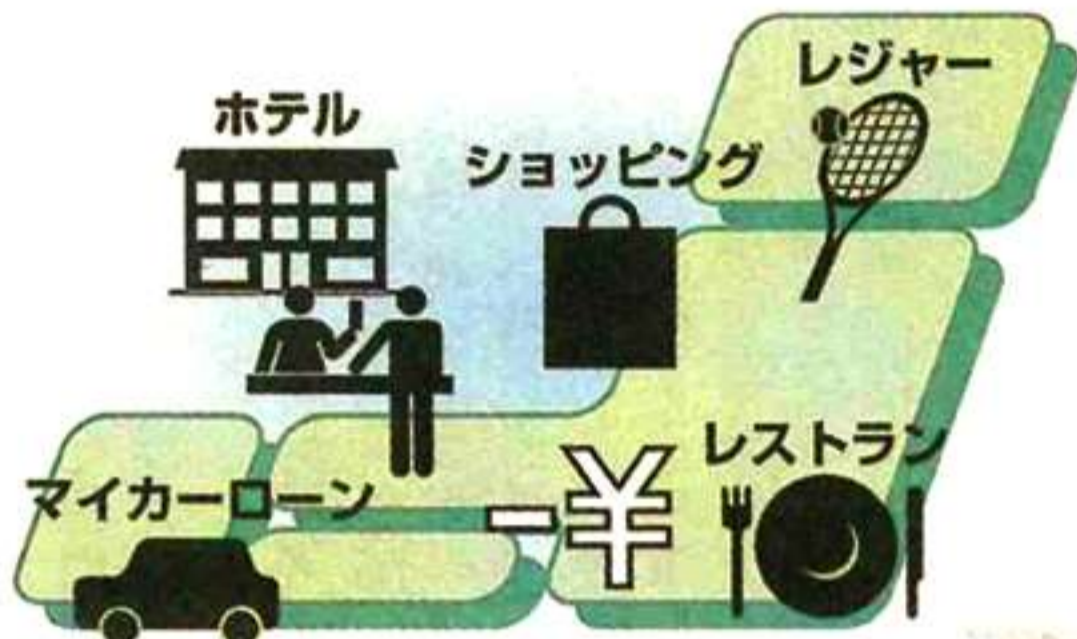
自動車安全運転センター

安全運転の研修

安全運転のための実践的なトレーニングを行います。一般の道路では経験できない運転上の危険な状況を安全に体験しながら、安全運転の基本と応用に再現実した訓練コースで安全運

安全運転の研修 体験しませんか

SDカード所有 特典が多くお得



SDカードを持っていると全国のカード優遇店の特典が受けられる

SDカードのメリット

センター山梨県事務所です。一度、体験研修をしてみませんか。詳しい入所の問い合わせは、電話055・2345、自動車安全運転センター山梨第1985号

「SDカードは安全運転者のしるし」。SDカードは、安全運転者の誇りと自覚を象徴するもので、無事故無違反の年数によって、色分けされています。一年以上は若草色、二〜三年水色、四〜九年銀色、一〇年以上が金色となっています。SDカードを持っている人は、マイカーローン、ガソリン代、食事代、宿泊代など優遇しています。SDカードの優遇店は全国共通で利用できます。問い合わせ先 ☎ 055・2345、またはホームページで見ることが出来ます (http://plaza.people.or.jp/jsdc/)。

T S マーク制度とは

T S マーク制度は、自転車安全整備店で自転車安全整備士が自転車の点検、または整備を行った場合、その自転車を確認し、自転車の交通ル



自転車の安全と安心を

と傷害保険が付いており、自転車安全整備店から交付されます。T S マークの「T S」は、Traffic Safety (交通安全) の意味で、自転車に張り付ける際、点検年月日と自転車安全整備士番号が記入されます。T S マークには、補償額の区分により、赤マークと青マークの二種類があり、それぞれ保険の有効期間は点検日から一年で、その補償内容は表のとおりです。

T S マーク区分	青マーク	赤マーク
死亡・重度傷害 (1級~4級)	一律 30万円	一律 100万円
入院 15日以上	一律 1万円	一律 10万円
賠償責任 (限度額)	500万円	1,000万円



T S マーク

賠償責任・傷害保険付(1年間有効) 自転車安全整備士番号 30897028 点検 11年 5月 1日